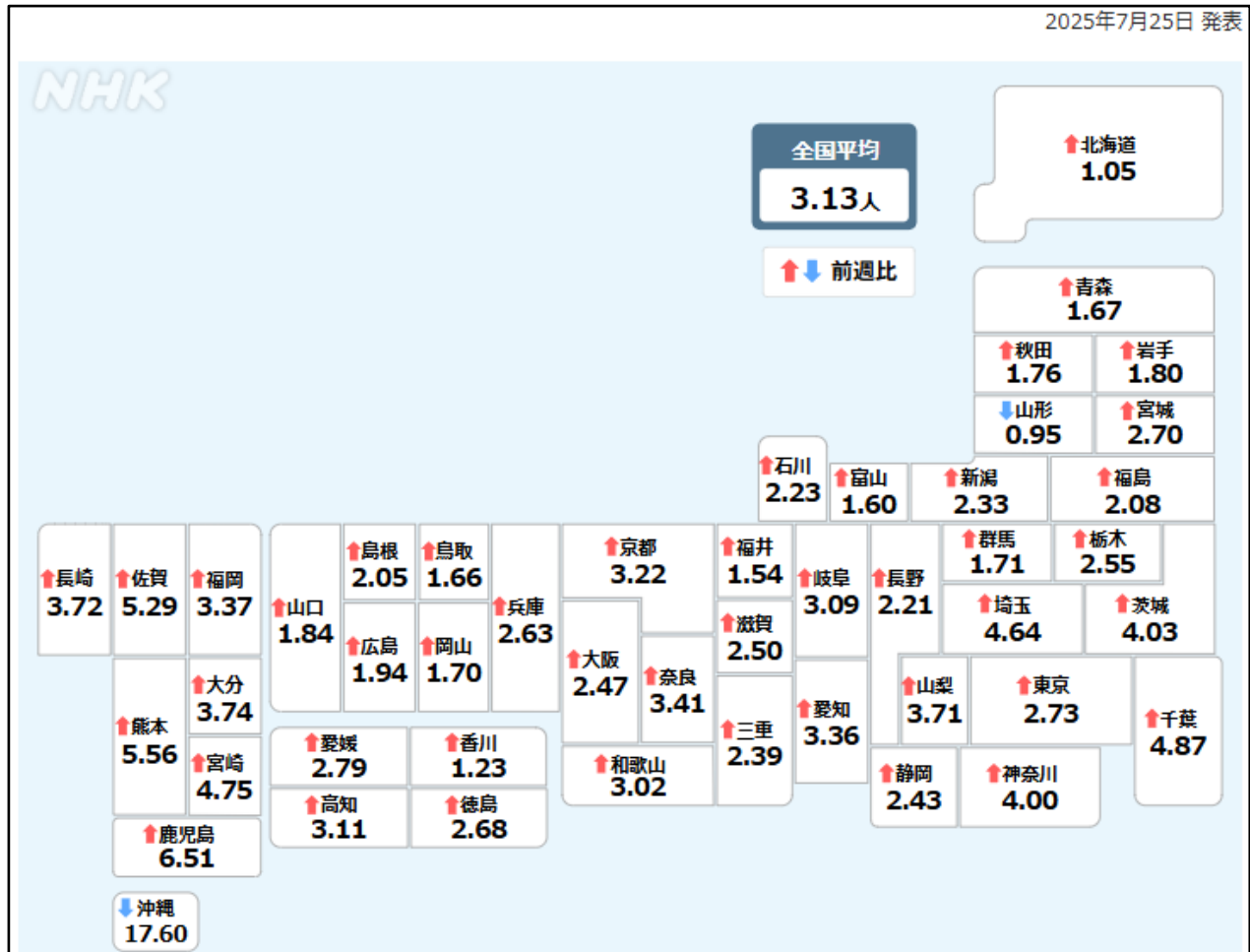


7月14日～20日 新型コロナの感染状況

(1 医療機関あたり)

新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが、2023年5月8日(月)に「5類」に移行したことに伴い、新型コロナの感染状況を示すデータは、これまでの「全数把握」から、全国5000の医療機関からの報告をもとに公表する「定点把握」に変わりました。

「定点把握」のデータの発表は、2023年5月19日(金)から始まりました。2025年7月25日(金)に発表された以下のデータは「7月14日(月)から7月20日(日)までの1週間に確認された1医療機関あたりの感染者数の平均値」となります。



※「定点把握」のデータは、毎週、日曜日までの1週間に確認されたデータが、金曜日に厚生労働省から「速報値」として発表されます。その後、詳しく確認が行われたデータが、翌週火曜日に国立健康危機管理研究機構から発表されます。

全国	
2025年7月7日～7月13日	2025年7月14日～7月20日
2.40人	3.13人

※厚生労働省の速報値です。データは後日修正される場合があります。

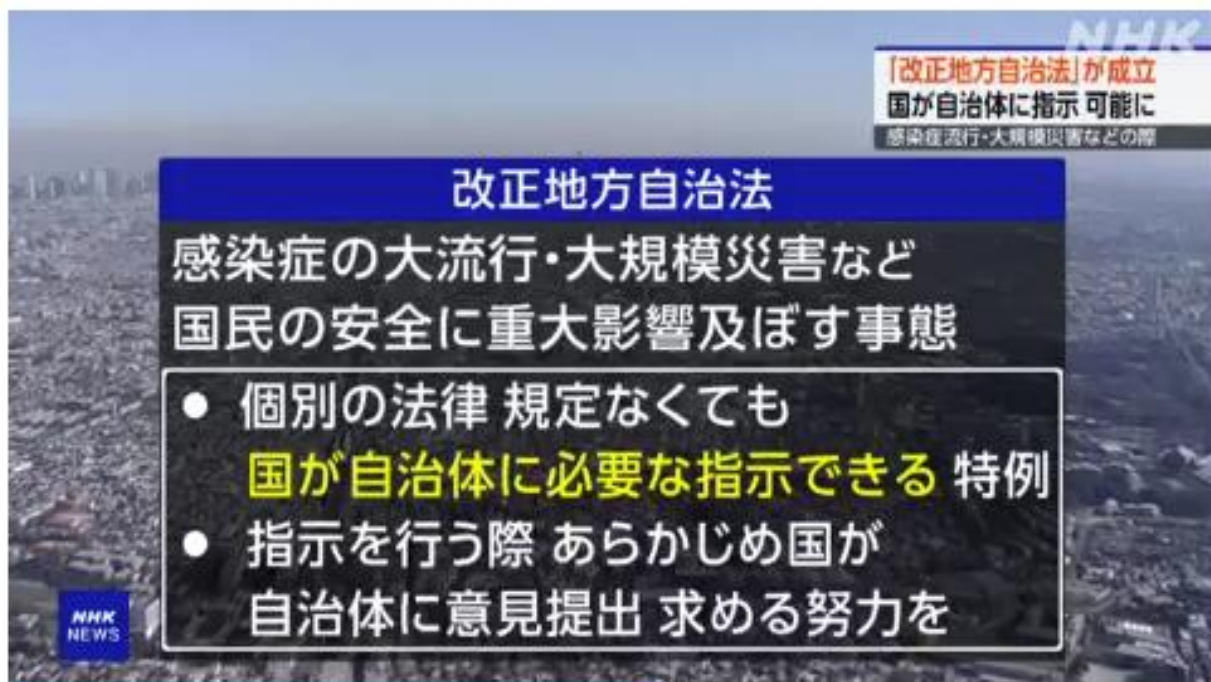
新型コロナ「定点把握」データ
過去の参考値と最新データを連続表示

厚生労働省は、今後の感染者数の推移を過去のデータと比較できるようにするため、2022年10月から2023年5月7日までの「第8波」を含む感染状況のデータを、「定点把握」で集計し直し、参考値として発表しました（青色の棒グラフ）。以下のグラフでは、この過去の参考値（青色の棒グラフ）と、2023年5月8日以降の最新の「定点把握」の数値（黄色い棒グラフ）を、便宜的に同じ画面内に連続して表示しています。



改正地方自治法成立 感染症の大流行など発生時 国が指示可能に

2024年6月19日 11時47分



<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20240619/k10014485461000.html>